

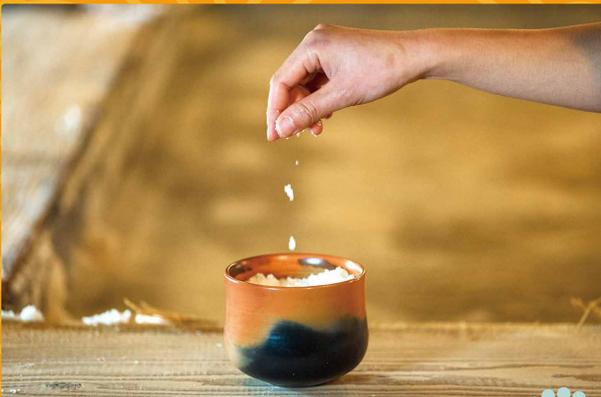
開墾の終わった西光寺野

出典：『西光寺野普通水利組合耕地整理組合事業』1915（大正4）年



播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道

～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～
(養父市・朝来市・神河町・市川町・福崎町・姫路市)



「日本第一」の塩を産したまち
播州赤穂
(赤穂市)



1300年つづく日本の終活の旅

～西国三十三所観音巡礼～
(姫路市・加西市を含む81団体)



播磨の日本遺産展示会

播磨地域には…
4つの日本遺産があります。

『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍、『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間』北前船寄港地・船主集落、『1300年つづく日本の終活の旅』西国三十三所観音巡礼、『日本第二の塩を産したまち 播州赤穂』。

この度、その魅力を広く知っていただくため、赤穂市・高砂市・加西市・たつの市の協力のもと、日本遺産の構成文化財のパネル展示等を行います。無料となっておりますので、ぜひ足をお運びください。

日時 10:00～16:30
令和7年 2月11日(火)▶16日(日)
場所 イーグレひめじ 地下1F
(姫路市民ギャラリー第2展示室)
〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-290

同時開催
第3・4展示室
姫路・播磨地域とフランスとの絆
「銀の馬車道」の歴史と魅力展
主催：姫路日仏協会



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～
(姫路市・高砂市・赤穂市・たつの市を含む52自治体)



生野銀山の人気者!!
緊急参戦

No.40
よさぶろう
登場!!



No.30
雅子登場!!

主催：姫路市 協力：赤穂市・高砂市・加西市・たつの市

日本遺産とは

地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ります。

播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道 ～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～

兵庫県中央部の播但地域。そこには、明治9年に日本初の高速産業道路として建設された、飾磨津（現姫路港）から生野鉱山へ至る“銀の馬車道”があります。さらには、生野、神子畑、明延及び中瀬へと連なる鉱山エリア“鉱石の道”が続きます。南北に貫く全長73kmのこの道は、鉱石や生活資材を乗せた馬車や人々が盛んに行き交い、経済、技術、文化発展の礎となり、日本の近代化を牽引しました。今なお地域に残る当時の志と息遣い、そして現在へと繋がれた歴史の轍は、日本遺産に認定され、さらなる未来へと繋がっていきます。



飾磨津物揚場跡



馬車道修築碑



浜の宮天満宮の神牛



港保



中島家住宅

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



正法寺の唐戸



九所御霊天神社の玉垣



北前船古文書群

1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～

究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではありません。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活です。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼なのです。日本人は海外の人から『COOL!』だと言われます。そのように評価されるのは、優しさ・心遣い・勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものです。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのです。

えんぎょうじ 圓教寺



ろっぴにふりんかんぜんおんぼさつ 六臂如意輪観世音菩薩

赤穂市立 海洋科学館 「塩の国」

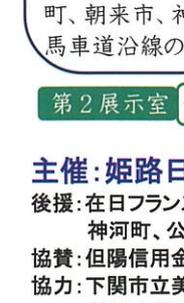
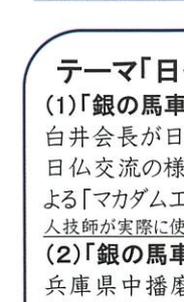


江戸時代、システムティックな入浜塩田（いりはまえんでん）による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は、入浜塩田の開発に適していました。その製塩技術は、瀬戸内海沿岸に広がり、市場を席巻（せっけん）するまでに成長しました。なかでも赤穂の塩は、国内きってのブランドとして名を馳（は）せ、赤穂に多彩な恵みをもたらしました。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいています。赤穂は今なお「塩の国」なのです。

「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

姫路日仏協会設立 20 周年記念

姫路・播磨地域とフランスとの絆 『銀の馬車道』の歴史と魅力展



- Asago
- Kamikawa
- Ichikawa
- Fukusaki
- Himeji



会期 2025年2月11日(火・祝)～2月16日(日) ※14日(金)は関係者のみ入場可。
10時00分～16時30分(最終日は16時まで) **入場料無料**

会場 イーグレひめじ B1 市民ギャラリー 第3・4展示室(姫路市本町68番地290)



姫路日仏協会会長
白井 智子

姫路を中心とした播磨地域とフランスとの友好・親善、文化・学術交流や姫路におけるフランス文化振興などを目的に設立した、姫路で唯一の外国政府公認の協会である「姫路日仏協会」は、昨年、設立20周年を迎えました。日仏文化交流史研究を専門としております私は、協会設立当初より、「明治政府の生野鉦山寮お雇いフランス人の功績と彼らが生野銀山～姫路間に建設した『銀の馬車道』および「姫路・播磨地域とフランスとの交流史」に関する研究を行っております。この度、姫路日仏協会設立20周年を記念して、私のこれまでの研究成果の公開を兼ねて、また、地域の文化・学術・国際交流振興のために、日仏両国で入手した『銀の馬車道』に関係する新出資料や地域の歴史遺産・文化財、姫路・播磨地域とフランスとの交流を紹介する展示会を開催することになりました。本展を通して、多くの方々に『銀の馬車道』や地域の魅力、姫路・播磨地域とフランスとの深い縁をお伝えできれば幸いです。

第3展示室

テーマ「日仏友好のシンボルロード『銀の馬車道』

- (1)「銀の馬車道」の歴史**
白井会長が日仏両国で研究・発掘した新出資料の展示と当時の日仏交流の様子についての解説、姫路市埋蔵文化財センターによる「マカダム工法」の解説。 ※「銀の馬車道」発掘調査の映像やフランス人技師が実際に使用した測量機などの機器類の展示あり。
- (2)「銀の馬車道」関連の歴史遺産と文化財**
兵庫県中播磨県民センター、姫路市、福崎町、市川町、神戸大学、朝来市、神戸大学、ヘリテージマネージャーご協力の下、馬車道沿線の歴史遺産・文化財や地域の魅力を紹介。

第2展示室 姫路市主催「播磨の日本遺産展示会」同時開催

主催: 姫路日仏協会 主催者代表・コーディネーター: 白井 智子 (姫路日仏協会会長、神戸大学・兵庫県立大学 講師・研究員)
後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、兵庫県中播磨県民センター、姫路市、姫路市教育委員会、朝来市、福崎町、市川町、神戸河町、公益財団法人姫路市文化国際交流財団、銀の馬車道ネットワーク協議会、神戸大学国際文化学術研究推進インスティテュート
協賛: 但陽信用金庫、伊東電機株式会社
協力: 下関市立美術館、姫路市立美術館、姫路市埋蔵文化財センター、株式会社シルバー生野、
神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

第4展示室

テーマ「姫路・播磨地域とフランスとの絆」

- (1)フランスと深く関わった姫路出身者**
古市公威(日本近代土木工学の父・文部省最初の仏留学生、日仏協会創設者の一人)、野口幽香・孫子(生野でフランス人技師一家と交流)、川石酒造之助(フランス柔道の父)、阿部知二(パリで川石と親交)・良雄(仏文学者)、高田賢三(ファッションデザイナー) ※4月より「高田賢三展」を開催する姫路市立美術館のご協力で、初出資料や映像の展示あり。
- (2)姫路・播磨周辺地域とフランスとの交流の歴史と現在**
 - ・姫路城とシャンティイ城との姉妹城提携とその後の日仏交流
 - ・柔道・バレーなどスポーツを通じた姫路とフランスとの交流
 - ・朝来市とバルビゾン村との芸術交流
 - ・伊東電機株式の技術サービスを通じた日仏交流
- (3)姫路日仏協会の20年の歩み**



フランス柔道連盟より姫路市に贈呈されたフランス男子柔道100超級のティ・リネール選手の柔道着も特別展示します。



本展は、中播磨県民センター中播磨地域づくり活動応援事業および公益財団法人姫路市文化国際交流財団の助成事業の一環として実施しています。